

1月11日

東京認可

新型コロナウイルス下で大学教育の形が模索されている。法政大学の田中優子総長は学生の評価を「学び」に軸足を置いたものに転換し、単位制度や定員管理も見直すよう提言する。

転換期の社会と大学



田中 優子

法政大学総長

に気づき、自分を育てる。
大学だからこそ得られる
その機会を失うことは学
生のみならず、教員にと
つても痛恨の極みだ。

法政大学は2021年
度の授業について、感染
拡大防止策を最大限講じ
ながら、対面授業を基本
にすることを決めてい
る。授業科目の特性を踏
まえ、対面とオンライン
を組み合わせる「ハイブ
リッド型授業」、対面授
業をオンラインで同時配
信する「ハイフレックス
型授業」など、柔軟な授
業設計に取り組む。とり
わけ急きよ導入したオン
ライン教育については、
さうなる質の向上が必要
できなくなつた。問題は
それだけではなかつた。
大学は授業のためにの
み存在するわけではな
い。あらゆる活動を通じ
て多様な人と人が言葉は
もちろん、五感全てで互
いの情報をやりとりす
る。その中で新たな自分
開講できる教室を十分に

用意することができず、
オンドマンドに切り替え
ざるを得ない。さらに昼
食時や構内での会話、課
外活動などの際の感染を
防ぐため、キャンパスご
とに出入りする人数を制
限している。

昨年12月、文部科学省
は各大学の対面授業の割
合と対策を公表した。文
科省に注意喚起されるま
でもなく、対面の価値は
十分に分かっている。そ
れでも都心の大規模大学
が対面授業の割合を一定
程度以上増やせないので
は、前述の理由による。
さらに課外活動も大学
の重要な側面である。本
学は11月初旬、一部のキ
ャンパスにおいて対面で
を積極的に取り出さ
れる。第一は、「人が成長す
る上で、他者と関わること
がいかに大切か」を改
めて認識し、関わる機会
を積極的につくり出すこ
とである。対面による関
わりもあるが、オンライン
による関わりもある。から学ぶことへ評価の視
点を移す」ことだ。従来
オンドマンドの定着によって、今は教えることに軸足を置
いたからである。学生たちは感染防止
を徹底して実施した。そ
の後感染の報告はなく、
多くの学生が大学という
拠点を実感できた。

実は「学び」の本当の
課題は対面かオンライン
かの二者択一ではない。
文科省と大学はともに、
真に必要な「学びのしく
み」とはどういうものな
のかを、今こそ考える必
要がある。

法政大学ではすでに多
くの社会人が学んでい
る。卒業ではなく履修証
明を発行できるプログラ
ムもある。今後オンライン
も対面も選択できるよ
うになれば、働きながら
複数の学位をもち、新た
な仕事の資格を得ること
ができる。地方と都心
異国の大学どうしの大学
間連携も容易になる。

その場合は、個々の大
学や学部の特徴が明確で
あることが連携を豊かな
ものにする。その地域独
自の研究や教育、その大
学ならではの履修科目が
あれば、学生は連携のな
た。

そこで、学び、複数学位の獲
得も夢ではない。多様な
対面の機会や横つながりをつくる仕組みをつめ、自ら目標を達成する
ことで、より広い範囲で
可能となる。

キ」としている。

学びの目標 自ら設定

大学設置基準などの規定	
<授業の設計>	1単位当たり標準で45時間の学修が必要。この中には授業外の予復習も含む
<卒業単位数>	4年以上在学し、124単位以上を取得。医学科などは6年以上、188単位以上
<定員管理>	入学定員の超過、未充足に応じて補助金減額などのペナルティーがある 大学全体の収容定員は学科・課程単位で学部ごとに定める
<校地面積>	学生1人当たり10平方㍍として算定

単位や定員管理見直し ■ 社会人教育に可能性

世界中の大学にとって
昨年は試練の1年であつ
た。突然、教室で授業が
できなくなつた。問題は
それだけではなかつた。
大学は授業のためにの
み存在するわけではな
い。あらゆる活動を通じ
て多様な人と人が言葉は
もちろん、五感全てで互
いの情報をやりとりす
る。その中で新たな自分
開講できる教室を十分に

そして大規模・中規模
授業のオンライン化で
ある。新型コロナウイル
ス感染症の拡大防止策を
講じて座席設定をする
と、大・中規模の授業を
できなくなつた。問題は
それだけではなかつた。
大学は授業のためにの
み存在するわけではな
い。あらゆる活動を通じ
て多様な人と人が言葉は
もちろん、五感全てで互
いの情報をやりとりす
る。その中で新たな自分
開講できる教室を十分に

用意することができず、
オンドマンドに切り替え
ざるを得ない。さらに昼
食時や構内での会話、課
外活動などの際の感染を
防ぐため、キャンパスご
とに出入りする人数を制
限している。

大学祭は学生が企画す
とに出入りする人数を制
限している。その後感染の報告はなく、
多くの学生が大学という
拠点を実感できた。

大学祭をおこなった。学
生が精神的に追いつめら
ざるを得ない。さらに昼
食時や構内での会話、課
外活動などの際の感染を
防ぐため、キャンバスご
とに出入りする人数を制
限している。

ルバイトを失った学生へ
は非常に有効だ。デジ
タル社会だからこそ、個
々の学びの進捗を複数の
場所なのである。

法政大学では新任教員
の社会人が学んでい
る。卒業ではなく履修証
明を発行できるプログラ
ムもある。今後オンライン
も大学院でも主体的に学
び、それを教員がサポート
する方法が浸透していく
ことを感じしてきた。

しかしそれでも単位の
とは個々の学生が「学び
の進め方」によって是
非を判断する。それが「先輩」たちがいる
ところである。

法政大学では新任教員
の社会人が学んでい
る。卒業ではなく履修証
明を発行できるプログラ
ムもある。今後オンライン
も大学院でも主体的に学
び、それを教員がサポート
する方法が浸透していく
ことを感じてきた。

しかしそれでも単位の
とは個々の学生が「学び
の進め方」によって是
非を判断する。それが「先輩」たちがいる
ところである。

本学ではコロナ禍でア
クセスしている。

本学ではコロナ禍でア
クセスしている。